**こんぶ学習指導案**

指導者：

**1．教材名**：こんぶのひみつを探ろう！（オリジナルスライド及び動画教材）

**2．授業の目標**

（１）海の生き物に関する知識や海に関する周辺知識を理解している

（知識及び技能）

（２）授業内での問いについて、自分なりに考えて答えることができる

（思考力,判断力,表現力）

（３）海の生き物に関する授業内容や問いに対して、主体的に取り組んでいる

（学びに向かう力,人間性等）

**３．本時の目標**

　こんぶの生態や育成方法、またうま味に関する知識を習得することができる。

**４．本時の展開**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の学習活動 | 指導上の留意点 | 児童の反応 |
| １．本時のめあてを確認する。  ２．食べたことのあるこんぶ料理を発表する。  ３．動画①を見て、こんぶの加工品の多さを知る。  ４．動画②を見て、料理だけでなく、こんぶそのものの種類の多さを知る。  ５．こんぶの出汁がなぜ海中に出ていかないのかを問う。  ６．出汁が美味しく感じられるのは、人間の味覚（味を感じる感覚）があるからなんだけど、人間はどんな味を感じているんだろう。  ７．それは「甘味」ということを伝える。じゃあ他にどんな味があるかを問う。  ８．動画③を見て、出汁としてこんぶが用いられる場合もあることを知る。  ９．なぜ味覚に辛味が入っていないかを問う。  １０．動画④を見て、こんぶが食べられ始めた時期について確認する。  １１．動画⑤を見て、こんぶが食卓に並ぶまでの過程を知る。  12.動画⑥を見た上で、今日授業の振り返りを記入と確認テストを実施する（もしくは宿題に）。 | 身近な生きものであるこんぶのひみつを探ろう。  ○ 近くの人と話し合う時間をとった上で発表させる。  ○ イメージしやすいように給食でこんぶが用いられているメニューを紹介する。  ○ 事前に挙げたこんぶ料理の数と比較しながら、こんぶの用途の多さに注目させる。  ○ こんぶの種類の数を予想した上で、動画を再生する。  ○ 問題が出題されるところは動画を止めて挙手させる。  ◯生徒たちが色々意見が言える雰囲気作りにつとめる。  〇ケーキを食べたらどんな味がするかを例題として問う  ◯生徒たちが色々意見が言える雰囲気作りにつとめる。  ○ 見た目ではわかりづらい出汁としてこんぶが用いられている料理をいくつか紹介する。  ○ 班やペアを作り、感想を言い合う時間を作る。  ○ 甘味、苦味、酸味、塩味について動画を止めて、それぞれの味覚が含まれる食材を挙げさせる。  ○ そんな味覚が増えるきっかけになったこんぶのすごさに気づかせる。  ○ 人にとって昔からこんぶが身近なものであったことに気づかせる。  ○いつも普通に食べている昆布がたくさんの人の手間と時間をかけてできてることを気づかせる。  ◯今日の授業を通してはじめて知ったことや感想を記入させる。  ○ 図書館に昆布の本があることを紹介する | ・おでんにこんぶが入っていた気がする！  ・おみそしるにも入っている？  ・おしゃぶりこんぶ食べたことある！  ・こんぶってこんなにもいろいろな食べ方があるんだ！  ・7種類もあるんだ！  ・このこんぶを家でみたことがある気がする！  ・長こんぶって本当に長いな！  ・煮てないから！  ・こんぶが生きてるから！  など  ・甘い！  ・おいしい！  など  ・辛い  ・酸っぱい  など  ・聞いたことがあるよ！  ・白だしを使っています！  ・味の素とかも出汁じゃない？  ・味じゃないから！  ・辛いと思わない人が多いから！  など  ・江戸時代じゃない？  ・2000年前くらいだと思う。  ・意外と昭和かも。  ・そんなに昔から食べられていたんだね。  ・食べられていた9割が北海道で取れたものなんだね。  ・こんぶがみんなのところに届くまで全て手作業になっているんだね。  ・こんぶって色々な人の苦労の上で食べられているんだね。 |